



受付日：平成30年2月6日  
受付番号：HP18-KT010

## 接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。  
平成30年5月28日

東京都港区芝5-3-3-7  
徳栄ビル本館4階  
ハウスプラス確認検査株式会社  
代表取締役社長 柳澤恒雄

1. 接合金物名称	クリ10スリムコーナーⅢ(枠材30mm対応) K10SⅢW30																
2. 試験依頼者	株式会社 栗山百造 〒955-0096 新潟県三条市井戸場84-9																
3. 目的	当該接合金物を用いた接合部の短期基準接合耐力(引張)を評価する。																
4. 試験内容	柱頭柱脚接合部及び横架材端部接合部を想定した中柱型引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は、ハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。																
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「クリ10スリムコーナーⅢ(枠材30mm対応) K10SⅢW30」1個 材 質: SGHC(JIS G 3302<sup>*1</sup>) 寸 法: 30mm×64mm×120mm(外形) 板厚t=3.2mm 接合具用孔 4-φ7mm(柱側) 接合具用孔 2-φ7mm(横架材側) 表面処理: Z27(JIS G 3302<sup>*1</sup>)</p> <p>2) 接合具</p> <p>柱側<sup>*2</sup>: 「クリスパイラルビス 7×65」4本 材 質: SWRCH22A(JIS G 3507-1<sup>*3</sup>)相当材として以下の化学成分を満たすもの C(0.18~0.23%), Si(0.10%以下), Mn(0.70~1.00%), P(0.030%以下), S(0.035%以下), Al(0.020%以上) 寸 法: φ7.0mm(最小断面径φ4.8mm) L=65mm 頭部径φ11.0mm 先端形状は、とがり先とする。 表面処理: ダクロタイズド</p> <p>横架材側: 「クリ六角頭ビス 7×120」2本 材 質: SWRCH22A(JIS G 3507-1<sup>*3</sup>)相当材として以下に掲げる鋼線<sup>*4</sup> SAE 1022<sup>*5</sup> SWRCH22A(JIS G 3507-1<sup>*3</sup>) 寸 法: φ7.0mm(最小断面径φ5.0mm) L=120mm 頭部径φ11.0mm 先端形状は、とがり先とする。 表面処理: ラスパート処理</p> <p>3) 軸組材料</p> <table><tr><td>柱材<sup>*2</sup>: 105mm×105mm×700mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率: 14.5~15.5%</td><td>全乾密度: 0.33~0.38g/cm<sup>3</sup></td></tr><tr><td>横架材: 105mm×105mm×1,000mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率: 14.5~15.5%</td><td>全乾密度: 0.32~0.36g/cm<sup>3</sup></td></tr><tr><td>たて枠材: 105mm×700mm 厚さ30mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率: 14.5~15.5%</td><td>全乾密度: 0.31~0.39g/cm<sup>3</sup></td></tr><tr><td>よこ枠材: 105mm×200mm 厚さ30mm</td><td>スギ 無等級材</td></tr><tr><td>含水率: 13.0~15.0%</td><td>全乾密度: 0.32~0.40g/cm<sup>3</sup></td></tr></table> <p>4) その他</p> <p>柱材とたて枠の接合: 鉄丸くぎN75 11本</p> <p><small>*1 JIS G 3302 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 *2 試験体は柱頭柱脚部を想定しているが、横架材端部の接合で用いる場合は、柱材を横架材として読み替える。 *3 JIS G 3507-1 冷間圧造用炭素鋼-第1部: 線材 *4 試験ではSAE 1022を使用した *5 SAE Internationalが定める規格</small></p>	柱材 <sup>*2</sup> : 105mm×105mm×700mm	スギ 無等級材	含水率: 14.5~15.5%	全乾密度: 0.33~0.38g/cm <sup>3</sup>	横架材: 105mm×105mm×1,000mm	スギ 無等級材	含水率: 14.5~15.5%	全乾密度: 0.32~0.36g/cm <sup>3</sup>	たて枠材: 105mm×700mm 厚さ30mm	スギ 無等級材	含水率: 14.5~15.5%	全乾密度: 0.31~0.39g/cm <sup>3</sup>	よこ枠材: 105mm×200mm 厚さ30mm	スギ 無等級材	含水率: 13.0~15.0%	全乾密度: 0.32~0.40g/cm <sup>3</sup>
柱材 <sup>*2</sup> : 105mm×105mm×700mm	スギ 無等級材																
含水率: 14.5~15.5%	全乾密度: 0.33~0.38g/cm <sup>3</sup>																
横架材: 105mm×105mm×1,000mm	スギ 無等級材																
含水率: 14.5~15.5%	全乾密度: 0.32~0.36g/cm <sup>3</sup>																
たて枠材: 105mm×700mm 厚さ30mm	スギ 無等級材																
含水率: 14.5~15.5%	全乾密度: 0.31~0.39g/cm <sup>3</sup>																
よこ枠材: 105mm×200mm 厚さ30mm	スギ 無等級材																
含水率: 13.0~15.0%	全乾密度: 0.32~0.40g/cm <sup>3</sup>																
6. 試験条件等	試験体の固定は、柱芯から横架材両木口側400mmの位置にM12ボルトと角座金W6.0×60を用いて鉄骨架台に緊結した。(締付トルク管理値: 20N・m)																
7. 試験結果	短期基準接合耐力 <b>11.8</b> kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)																
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番																
9. 試験実施日	平成30年3月1日																
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 所 義登																

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。